



十勝川治水100年
トークリレー ⑰

あじさい保育園（帯広市東9南19）は開園46年目を迎える保育園です。子どもによりよい発達を目指し、地域の人々との触れ合い、自然との触れ合いを重視しながら保育をつないでいます。

その中で、札内川河川敷は木々の間の探検、四季折々の草花との触れ合い、川遊び、魚すくいなど自然の宝庫として位置付けられていました。十勝川水系緑地計画として、札内川河川敷が着々と整備されてきた1996年、地域の方々との連名で、「人間は、自然と共に生きています。身体も心も健全に育てるために、自然は欠かせないものです。豊かな自然と触れ合える環境を残してやることは、わ

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



あじさい保育園
園長 松山 久子 氏



十勝毎日新聞
令和5年9月12日 3面 掲載

あじさい保育園園長 松山久子さん



子の成長 欠かせぬ自然

われわれ大人の責任であると考えます」として、「子どもたちが自然に親しめるような、自然が戻るような緑地対策をしていただきたい」などの要望書を上げました。

その年の9月、これらの要望で帯広開発建設部帯広河川区 水辺の楽校」として、バ

1ドハウスの設置会や実のなる木の植樹会に参加したり、魚捕りや魚の観察会などを行い、たくさんの方々を支えられて札内川との関わりを続けさせていただいています。

保育園では15歳のつごいという中学3年生が集まるクラスがあります。その時に子どもたちが「札内川行きたい！」と言ってくれます。子どもたちの心の中に自然の中で遊んだ心地よさがしみ込んでいるようです。これからも未来の子どもたちにつながるような事業になっていただることを願っています。

十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えた。治水事業と関わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。

（随時掲載）

